

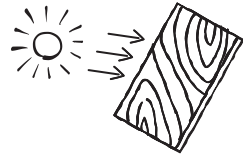
1 安静効果

木材の香りには、血圧を低下させるなど体をリラックスさせる、ストレスを軽減し免疫細胞の働きを向上させるといった効果があると考えられています。



2 紫外線吸収効果

木材は紫外線をよく吸収するため、木材から反射する光にはほとんど紫外線は含まれません。紫外線の反射が少なければ、目に与える刺激も小さくなります。



3 調湿効果

木材は、空気中の湿度が高いときには水分を吸収し、湿度が低いときには水分を放出するという調湿作用を持っています。木材を建物の内装などにたくさん使うと、部屋の中の湿度の変動は小さくなります。



4 断熱効果

木材は他の建築資材に比べて熱伝導率が低く、断熱性が高いため、住環境の改善や、建築物の省エネルギー化に貢献します。



5 衝撃吸収効果

木材は、パイプ状の細胞が柔軟に変形してクッションのような役目をするので、例えば、大理石に比べて2～3倍の衝撃吸収能力があります。床や壁に木材を上手に使用することは、転倒などによるけがの防止につながります。



出典：令和2年度森林・林業白書、林野庁ホームページ



「やまがたの木」認証制度

山形県内の森林から伐採された原木を山形県内で製材・加工した製品で、生産・流通履歴の明確なものを「やまがたの木」といいます。「やまがたの木」を使った建物に対して県や市町村からの支援が受けられる場合があります。

木づかいサイクル



やまがたの木を使って
地域の森林・林業を元気に

Yamagata Wood Architectures



山形県の木造建築 事例紹介
—やまがたしあわせウッド賞 顕彰施設—



YAMAGATA
森林ノミクス
モリ

山形県の県土の7割は森林です。その森林には、美しい自然景観の形成や水源のかん養、災害や地球温暖化の防止、人々への癒やし効果など様々な機能があります。

「やまがたの木」を使うことは「伐って・使って、植えて、育てる」というサイクルを生み、地域の経済を回し、地域の森林を守ることにつながります。